

## 科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 26 年 7 月 29 日現在

機関番号：31309

研究種目：基盤研究(B)

研究期間：2011～2013

課題番号：23330228

研究課題名(和文) 対人援助職者の専門職アイデンティティ形成とジェンダー

研究課題名(英文) The Identity Formation of Human Service Professionals from a Gendered Perspective

研究代表者

槇石 多希子(Makiishi, Takiko)

仙台白百合女子大学・人間学部・教授

研究者番号：80209402

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 4,400,000円、(間接経費) 1,320,000円

研究成果の概要(和文)：成人教育や特別支援学校の教師、保育士、看護師、保健師など退陣援助職者のアイデンティティと専門性の形成の十種的に明らかにすることを目的とした。特に保健師のライフコースに注目しつつ、地域における精神障害者の社会参加を支える専門職としての役割の分析を進めた。また「看護の力をどのように育むのか」という実践的な問題提起について論述を展開した。

これらの専門職者のアイデンティティを、インタビューにおける語りを通して明確化するとともに、アイデンティティと専門性の形成を、クライアントである、子ども、施設の利用者、患者、住民、および実践を共にする同僚たちとの関係を通じた学びの中でとらえた。

研究成果の概要(英文)：The purpose of this study is to practically elucidate the formation of identity among human service professionals, i.e., adult educator, curator, teacher in special-needs school, childcare worker, nurses, and public health nurses. With special attention to the life courses of public health nurses, we analyzed their roles as experts who support the social participation of mentally disordered people in local communities. We also deal with the practical issue of "how to enrich the quality of nursing." In this research, we have a qualitative approach. We clarified the professional identity of those professionals through the in-depth interviews; comprehended the formation of their identity and expertise through the study of their relationship with coworkers as well as clients, i.e., children, patients, people who use the welfare facility, and local people.

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：教育学

キーワード：専門職 アイデンティティ ジェンダー 実践コミュニティ 成人教育

## 1. 研究開始当初の背景

「社会教育職員の問題には、社会教育に関する政策と運動の外在的・内在的矛盾が集約的に表現されている」(小川利夫 1974:5)。それは、社会教育とは何か、という「教育活動の本質と深く結びついている」(土井 1980:11)(上田 1996)。1980年代までの研究では、社会教育法体制の条理解にもとづく社会教育職員の職務論が主に展開されてきた。

ところが、1990年代以降になると、社会教育関係職員の拡散化をとおして、議論の仕方がかわりつつある。一方では、臨時職員の職員問題と専門性論が論じられ(佐藤進 2004)(平川 2002)(荒井 2002)。他方では、技術的・方法的専門性への限定した議論(広瀬 1999)(土井 1985)など、そして、社会教育専門職員に限らず、対人援助職・者の力量形成の方法的問題への焦点化(渋江 2004)(倉持 2004)(三輪 2008)(柳沢 2008)などである。

渋江、倉持、三輪たちの省察的学習論にもとづく職員論は、技術的・方法的職員論の系譜に属する。それらは個体主義的能力観にもとづく議論であり、社会教育実践を職員個人の取り組みとして、よりよい実践の実現を職員個人の力量の問題としてとらえる論じ方である。この点が、これらの研究に対する私たちの主要な批判点であり、状況的学習論の立場から研究をすすめる理論的理由でもある。

また一方では、対人援助職の専門性とは何か、それはいかに形成されるのか、という問題は看護職、社会福祉職はじめ、その職業の専門職としての確立という実践的課題ともかわり内外で繰り返し議論されてきた。例えば、医療・福祉領域の専門性については、専門職としての確立という実践的な関心もあって、すでに国内、そして海外で多くの研究が行われている

(Patricia Benner, Sarah Burns の著作、Nurse Education Today や Nursing Inquiry などの専門雑誌とうで特集が組まれている)。

この専門性をとらえる立場として大きく2つの理論的立場がある。一つは、高度な科学的知識が専門性の中核にあるとする医療モデルを前提とした教育・カリキュラムであり、もう一つは、省察的実践家をモデルにした省察的学習にもとづく専門職教育の理論である。これら2つの立場はまったく相対立する関係にあるように思われるが、専門性、専門的知識があたかも実体として存在するものとしてとらえること、しかも、それが職場において専門職・者が目的合理的に機能することを前提しているという意味で、両者が同一の地平にあることを批判してきた。

本研究では、先行研究の検討からえられた理解にもとづき、専門職・者のアイデンティティが、実践コミュニティへの参加をとおして絶えず揺らぎ、再構成されるものとして研究したいと考えている。この参加が、学習をとおしていかに影響をうけるのか、ジェンダーや経験年数に応じていかに変化してきたのか、ということをとくに重視した分析を試みる。これまで分担者松本は、看護師を対象に、感情労働と技術的合理性の相克を理論的に検討してきた(2009年度日本社会教育学会大会報告)。小林建一も医療職を念頭に、ケアの哲学的解明を目指して検討を重ねている(2009年度日本社会教育学会報告)。高橋満も、従来の研究が職員の専門性形成を個体主義的にとらえる議論に批判を加えてきた。本研究は、これらの到達点をふまえた総合的研究である。

保健師の資料については、『いわての保健婦のあゆみ』(日本看護協会岩手県支部)、『岩手県の助産婦・保健婦の綴る昭和史』

(畠山富而著)、『岩手の母子保健に生きた人々』(同)、『宮城の保健婦』(宮城県看護協会保健婦部)、『野家先生との出会い』とは、基本的な資料を入手している。くわえて、医療の社会化と保健婦・師の活動を事例的に考察する予定の下閉伊郡川井村の保健活動の統計資料、『川井村保健活動のあゆみ』(全2巻)をえている。

看護師の調査については、分担者高橋・松本たちが東北大学病院の看護師を対象に、10年経験者のインタビュー調査をしている。このため大学病院倫理委員会の許可をえている。保健師の調査については、分担者高橋が岩手県、宮城県の現・元保健師に協力を得ながら、予備調査をすすめてきた。保育園を担当する香曾我部は、保育園への参与観察をするため保育園の協力をえることができるよう調整済みである。このように、研究費ができればすぐにでも本格的な調査にかかることができるような準備はすでに整っている。

## 2. 研究の目的

本研究は、看護師、保健師、ソーシャルワーカー、教師(特別支援学校の教師)など対人援助職・者の専門職としてのアイデンティティが日常的な職場の実践コミュニティでいかに形成されるのかということ明らかにしつつ、これと対比した社会教育関係職員の専門性を明らかにすることに目的がある。具体的には、専門職・者がもつべきとされる明示的、暗黙の規範、規則、習慣等とは何か。それらをめぐり職場でいかなる

交渉が展開されているのか、交渉においてジェンダーや経験がどのような役割を果たすのか、ということ明らかにしながら、専門職のアイデンティティを形成における実践コミュニティの役割を実証することである。この研究的方法的立場は「状況的学習論」であるが、制度やパワーの問題に

注目することによって、その形成プロセスにおける制限やジレンマを明らかにしたい。  
3. 研究の方法

この研究では状況的アプローチをとる。したがって、職場における実践コミュニティの関係構造と、相互作用をととしたアイデンティティの形成過程を明らかにする。このためインフォーマントと比較的長期にわたる関係を結びながら、彼・彼女たちの職務を参与観察することが必要となる。方法としてM-GTA法、ライフストーリー法を中心として使用するが、くわえて参与観察、ビデオ記録などの多様な方法を駆使する。彼・彼女たちが、どのような労働をしているのか。その労働・実践のなかで、どのようなインフォーマルな学びがあるのか。先輩や同僚との交渉においてジェンダーや経験がどのような役割を果たすのか。どのような価値観にもとづいて、どのような感情をもちながら労働・実践をしているのか。これら点を解明しつつ専門職のアイデンティティ形成における実践コミュニティの役割を実証的に明らかにする。総合的な分析では、彼・彼女たちの職場での研修がどのような役割を果たしているのか、家庭がどのような意味をもつのかということなども関連させて分析する。

## 4. 研究成果

成人教育や特別支援学校の教師、保育士、看護師、保健師など退陣援助職者のアイデンティティと専門性の形成の十種的に明らかにすることを目的とした。特に保健氏のライフコースに注目しつつ、地域における精神障害者の社会参加を支える専門職としての役割の分析を進めた。また「看護の力をどのように育むのか」という実践的な問題提起について論述を展開した。

これらの専門職者のアイデンティティを、インタビューにおける語りを通して明確化するとともに、アイデンティティと専門性の

形成を、クライアントである、子ども、施設の利用者、患者、住民、および実践を共にする同僚たちとの関係を通じた学びの中であらえた。

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文](計 10 件)

槇石 多希子、高橋 満 精神障害者の社会参加を支える支援ネットワーク  
仙台白百合女子大学人間発達研究センター  
紀要『人間の発達』8巻 2012 21-45

高橋満 若者の社会参加ポリティックス  
社会文化研究 15巻 2012 7-27

高橋満 看護の力をどのように育むのか(2)  
東北大学大学院教育学研究科年報 60巻  
2012 99-124

廣森直子 労働の場におけるジェンダー構造と女性労働者の学習  
日本社会教育学会紀要 48 2012 45-47

香宗我部 琢、小岩井伸、中沢佑香、小林美幸ほか 4名  
遊びにおける幼児の「走る」行為の発達の検討とその意味「走る」行為による幼児の関係性と意味世界  
上越教育大学研究紀要 32 2014 103-110

#### 小林建一

人権教育としてのコスモポリタン教育 国境を超えるケアの倫理の観点から  
聖園学院短期大学研究紀要 43 2013  
100-125

小形美樹、高橋保幸、高橋満

天災地変直後の職業訓練の意義と役割 東日本大震災で被災した女性求職者の事例から

仙台青葉学院短期大学「研究紀要」5巻(2)  
2013 57-71

廣森直子 労働の場における排除と非正規専門職女性の力量形成の課題 図書館司書を事例に

日本の社会教育 57集 2013 32-43

高橋満、佐野万里子

公民館職員の専門性 研修編成の構想

月刊社教育 689号 2013 10-23

高橋満 福祉のまちづくりと「ごうい」の形成・まなびのコミュニティをつくる

認知症ケア事例ジャーナル 6(1) 2013  
298-308

[学会発表](計 0 件)

[図書](計 4 件)

廣森直子、岡元栄一、新崎国広、守本友美、神戸智司 大学教育出版

『なぎさの福祉コミュニティを拓く 福祉施設の新たな挑戦』 2013 207 頁

小田豊、山崎晃監修(香宗我部琢分担執筆)  
北大路書房 『幼児学用語集』2013 289 頁

高橋満 東信堂 『コミュニティワークの教育的実践』 2013 202 頁

日本教育社会学会編(高橋満・槇石多希子分担執筆) 東洋館出版

『希望への社会教育 3.11 後社会のために』  
2013 301 頁

[産業財産権]

出願状況(計 0 件)

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
出願年月日：  
国内外の別：

取得状況（計0件）

名称：  
発明者：  
権利者：  
種類：  
番号：  
取得年月日：  
国内外の別：

〔その他〕  
ホームページ等

#### 6. 研究組織

##### (1) 研究代表者

榎石多希子（仙台白百合女子大学・人間  
学部教授）

研究者番号：80209402

##### (2) 研究分担者

高橋満（東北大学大学院・教育学研究科  
教授）

研究者番号：70171527

##### (3) 研究分担者

松本 大（弘前大学・教育学部講師）

研究者番号：50550175

##### (4) 研究分担者

櫻 幸恵（岩手県立大学・社会福祉学部  
講師）

研究者番号：60347185

##### (5) 研究分担者

小林建一（聖園短期大学・保育科教授）

研究者番号：80517160

##### (6) 研究分担者

香宗我部琢（宮城教育大学・教育学部准  
教授）

研究者番号：00398497

##### (7) 研究分担者

廣森直子（青森県立保健大学・健康科学  
部講師）

研究者番号：40315536